BAYER

カウンシル®
コンプリート
フロアブル

”除草力“のカウンシル。

高葉齢ノビエも！難防除も！

コウキヤガラ
クログワイ
ノビエ
オモダカ

ノビエ、難防除多年生雑草を
「一発処理」で枯らす除草力。
鉄コーティング直播栽培にも適応。
多角化・大規模化に貢献できる
次世代の水稲用除草剤です。

クログワイ・オモダカ・コウキヤガラ
一発処理
公益財団法人日本植物調節剤研究協会

AVH-301

®カウンシルはバイエルグループの登録商標
®ジャンボは(公財)日本植物調節剤研究協会の登録商標

製品のより詳しい
情報はこちら！

幅広い殺草スペクトラムで、ノビエ、SU抵抗性雑草（コナギ、ホタルイ、アゼナ類など）、難防除多年生雑草（クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ）に有効です。

水稲用初・中期一発処理除草剤

カウンシル®コンプリート フロアブル

AVH-301

農林水産省登録：第23794号
有効成分：テフリルトリオン……5.8% 除草剤分類 27
トリアファモン……0.97% 除草剤分類 2
毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

カウンシル®コンプリート剤の特長

■2成分で高い除草効果
新規成分トリアファモンとテフリルトリオンの2種混合の初・中期一発処理除草剤で、幅広い草種に対して高い除草効果を示します。

■ノビエへの優れた効果
高葉齢のノビエに対する枯殺力が高く、また、長期残効性を有します。

■難防除多年生雑草への高い効果
クログワイ、オモダカ、コウキヤガラに高い除草効果・塊茎形成抑制効果を示します。効果持続性が長く、通常の圃場条件では1回の散布で雑草を防除することができます。

■特殊雑草にも有効
アシカキ、エゾノサヤヌカグサ（1キロ粒剤）、キシュウスズメノヒエ等の多年生イネ科雑草やクサネム、イボクサ等の特殊雑草にも有効です。

■水稲に対する安全性が高い
水稲に対して優れた選択性を有し、通常の圃場条件下で安心して使用できます。

■直播水稲に適した薬剤性能
直播水稲（鉄コーティング直播栽培含む）において、本剤は効果・安全性ともに優れ、1キロ粒剤はは種時からノビエ3.5葉期まで、フロアブルはは種直後からノビエ3.5葉期まで、ジャンボはイネ1葉期からノビエ3葉期までの幅広い散布時期で余裕をもって使用できます。

適用雑草と使用方法

2020年8月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	使用回数 *	使用方法
移植水稲	一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ コウキヤガラ キシュウスズメノヒエ	移植後5日～ノビエ 3.5葉期 ただし、 移植後30日まで	500mℓ	本剤 1回 テフリルトリオン 2回 トリアファモン 2回	原液湛水散布、 水口施用 または 無人航空機による滴下
直播水稲	一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	は種直後～ノビエ 3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

■使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
■本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
■本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3.5葉期までに時期を失しないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリは4葉期まで（直播水稲のホタルイでは3葉期まで）、ウリカワは3葉期まで、クログワイは発生前から草丈10cmまで、オモダカは発生前からへら葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、コウキヤガラは発生始期から草丈30cmまで、キシュウスズメノヒエは再生茎3葉期までが本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
■散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布して下さい。
■水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深3～5cm）に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないよう注意して下さい。
■無人航空機で滴下する場合は、次の注意を守って下さい。
①滴下は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
②滴下に当っては散布装置のノズルを取り外して下さい。
③作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他の装置の十分な点検を行って下さい。
④薬液の飛散によって適用作物以外の作物に影響を及ぼすおそれがあるので、周辺作物に薬液がかからないように風の影響などを十分考慮して滴下して下さい。
⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。
⑥薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理して下さい。
⑦本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬液散布には使用しないで下さい。
■散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行って下さい。
■浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行って下さい。
■以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。
①砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm／日以上）
②軟弱苗を移植した水田
③極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
■著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさけて下さい。
■散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。
■薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎおよびさやえんどうを栽培しないで下さい。
■本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意して下さい。
■蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
■本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

本剤が多量に稲体に付着した場合に、付着した葉ならびに直後に伸展してくる新葉1～2枚に白化症状が認められる場合があります。
しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。なお、ノズル散布をした場合、白化症状が強く出ることがあります。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 https://cropscience.bayer.jp/
お客様相談室 0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00 土・日・祝日を除く

F-3239 20.08.NY